

お節介士心得 十箇条

- 一、お節介は、節度ある介入と心得よ。
- 二、お節介は票集め、金集めの道具に非ず。小さな親切と心得よ。
- 三、お節介は、目の前の人を思い遣ることと心得よ。
- 四、お節介は、時を選んで、人を選ばず。相手の必要とする時に。
- 五、お節介士は、専門家に非ず。誰でもできる易しいことと心得よ。
- 六、お節介士は、指導者に非ず。道案内に徹せよ。
- 七、お節介士は、介護者への情報支援に徹すべし。
- 八、お節介士は、自ら働きかけることを使命と心得よ。
- 九、お節介士は、時に「お節介」と言われる覚悟をもつべし。
- 十、お節介は人と人を繋ぐネットワーク。顔の見える関係にあるべし。

お節介士は、介護する人の話に耳を傾け、相手に必要と思われる情報を提供して
明るいケアライフのために手助けすることを目的としています。自らの意見を押し
付けたり、自分の信じる考え方に誘導したりしてはなりません。また、お節介
の範疇を超えた専門的な相談業務やケアプランの作成、有料のコンサルタント業
務などを行うことも禁止します。

まずは、きっかけをつくり、声をかけて孤立を防ぐこと、そして適切に専門の窓
口へと導くことを目指してください。